

お取扱いについて

■ 応急措置 ■

- 目に入った場合、絶対に目をこすらずに、速やかに清浄な水で最低15分洗眼した後、医療処置を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。被災者の意識が朦朧としている場合、意識がない場合は、無理に吐かせないで、速やかに医療処置を受けてください。

■ 取扱い上の注意 ■

- 目・皮膚等への接触をさけるため、適切な保護具（手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等）を着用してください。
- 取り扱い後は顔、手、口等を水洗してください。

■ 漏出時の注意 ■

- 回収作業には、手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等の保護具を着用してください。
- 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとってください。
- 床面に付着したものは水で洗浄してください。

■ 廃棄上の注意 ■

- 残余廃棄物は固化後廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄してください。
- 洗浄水等の排水は、水質汚濁防止法等の関係諸法令に適合するように十分留意してください。
- 処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理してください。

■ その他 ■

- その他の必要事項については、安全データシートをご覧ください。

■ カタログに関する注意事項 ■

- 本カタログに記載されている数値は、測定値の代表例です。
- 本カタログの内容は、予告無しに変更することがあります。
- 本カタログ記載の用途は、本製品の当該用途へ使用した結果を保証するものではありません。
- 本カタログは2022年6月に作成しました。

セメント系セルフレベリング材

フローレベラー[®]（床用）



株式会社トクヤマ エムテック

株式会社トクヤマ エムテック

URL <https://www.k-tokuyama.co.jp>

本社・東日本営業Gr 103-0023 東京都中央区日本橋本町4-8-16 KDX新日本橋駅前ビル3F
TEL 03-6265-1075 FAX 03-6265-1073

中日本営業Gr 573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3-8-3
TEL 072-857-2770 FAX 072-857-1125

西日本営業Gr 812-0055 福岡県福岡市東区東浜2-82-2
TEL 092-642-9070 FAX 092-642-9071

首都圏セメント建材
開発センター 299-0268 千葉県袖ヶ浦市南袖10
TEL 0438-60-8770 FAX 0438-60-8370

工場 / 枚方工場(大阪) 袖ヶ浦工場(千葉) 九州製造拠点:(株)熊本硅砂鉱業(熊本)

販売店

フローレベラー[®](床用)

登録番号	0310002
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆

■ 特長

高品質

材料を施工現場でバッチシステムによって混練するので、フローのばらつき、時間経過による性状変化がなく安定した高品質のスラリーを供給します。セルフレベリング性能が高く、トンボ、コテ等で均すだけで平滑な床に仕上がります

1サイクル(水計量、粉体計量、攪拌時間、排出)までを1バッチとし、自動制御したシステムです。

バッチシステムとは

現場で必要量だけ混練するので材料の不足、余りを起こしません。
(1バッチ：0.25m³)
1バッチ：0.15m³での混練が可能です。

経済的

■ 性能 (試験方法：日本建築学会規格 JASS 15M-103)

試験項目	試験結果	品質基準
フロー値 (cm)	22.4	19以上
凝結時間	始発	8時間30分
	終結	11時間10分
圧縮強度 (N/mm ²)	33	20以上
下地接着強度 (N/mm ²)	2.1	0.7以上
表面接着強度 (N/mm ²)	1.9	0.5以上
長さ変化 (%)	0.08	0.12以下
衝撃	割れ及び剥がれは認められなかった	割れ及び剥がれないこと

(財) ベターリビング

■ 車両仕様 (積載8tベース車)

項目	値
全長 (mm)	約 8,000
全幅 (mm)	約 2,345
全高 (mm)	約 3,650
最大積載量 (m ³)	2.5
混練能力 (m ³ /h)	3

ポンプ圧送能力	
水平最大	約100m or 高さ 約30m
圧送ホース (常設)	70m



施工方法

1 事前用意

- 車両の設置場所を確保してください。(分電盤・発電機から25m以内)
- 電源(三相200V100A)または、発電機45KVAと混練のための上水を支給してください。
- ユニックを使用する為、設置場所の上部に障害物が無いか確認して下さい。
- 打設終了後の残材、洗い水の処理場所の確保をお願いします。

2 下地調整

- コンクリート表面の脆弱部分、レイトンス、油脂等、接着を阻害する部分を取り除いてください。
- 清掃は掃除機等を用いて埃、ごみを十分に除去してください。
- 漏れの恐れのある隙間はモルタル等で埋めてください。
- 下地清掃のため水洗いを行った場合は、下地を十分に乾燥させてください。

3 レベル決定

- 仕上げ面を表示するために、壁際及び柱に仕上げ墨出しを行ってください。また、広い場所は1~2m間隔でアタリをとってください。

4 プライマー処理

- プライマーの塗布は左官用刷毛、デッキブラシ等を用いて下地に刷り込むように塗布し、十分に浸透させてください。プライマーが未乾燥状態で次工程の作業に移ると、仕上り不良や接着不良等の原因となりますので、十分乾燥させてください。

SLプライマーONE

成分	アクリル系共重合ラテックス
塗布方法	1回塗布 3倍希釈液 (SLプライマーONE 1: 水 2)
塗布面積	150~180m ² /缶

*雨打たれ、軽量・高強度コンクリート下地の場合、当社へお問い合わせください。

5 混練

- 専属オペレーターが混練を行い、スラリーを供給します。



登録番号	1004006
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆

6 施工

- 流し込みは施工場所の奥から行い、仕上げ墨、アタリに合わせながら流し込んでください。トンボ、コテ等で均して仕上げてください。
- 打ち継ぎは 20 分以内に行ってください。

7 養生・その他

- セルフレベリング材の急激な乾燥・通風による表面の皸の発生をさけるために、硬化するまでは風雨の当たらないように窓等を閉めて養生してください。
- 硬化後はできるだけ通風を良くし乾燥させてください。
- 床仕上げ材の施工までの養生期間は7日以上とする。なお冬期の養生期間は 14 日以上とする。
- 白華が発生した場合は、乾燥後ポリッシャー等で取り除いてください。
- 床仕上げ材の施工は、1ヶ月以内を標準とする。それ以上の期間放置する場合はシート等で養生してください。

使用上の 注意事項

- 貼り床下地材ですので原則として塗床材の下地には適用しません。施工の場合は弊社にご相談ください。
- 屋外や勾配を必要とする場所には使用できません。
- コンクリート打設後の養生期間は1ヶ月とし、乾燥を良く確認してください。

- 標準施工厚さは10mmです。原則として5mm~30mmの範囲で施工してください。
- 他材料の混入は避けてください。
- 施工場所の気温が5℃以下の場合は、施工を行わないでください。

施工に際しては「フローレベラー標準施工要領書」を必ずご覧ください。